

## 子育て

### 現在の課題

- 少子化により、コミュニティ活動のきっかけとなる子どもが少なくなったことで、地域住民の関係性は希薄化しています。子どもたちにとって、大勢の人と関わりながら育つ環境がなくなっています。
- 震災の影響もあり、不登校の児童が増加し、引きこもりになってしまう子どもたちも増えてきています。
- 生活の困窮による子どもたちの貧困も深刻で、食や教育に対する支援も必要になってきています。

### 解決に向けて(主な団体の取り組み)

- ◆NPO法人にじいろクレヨン  
地域住民と子どもたちが集う拠点を提供し、遊びとアートで子どもたちの居場所づくりを行っています。
- ◆NPO法人ベビースマイル石巻  
子育て中の母親の孤立化を防ぐため、情報提供や居場所づくりを行っています。また、父親の育児参加にも力を入れ、市と協力して父子手帖の作成を行っています。
- ◆NPO法人TEDIC  
不登校の子どもたちの学習支援として、フリースクール「ほっとスペース石巻」を運営しています。勉強のサポートだけでなく、面倒を見てくれる大人がいるという「安心感」を与えています。



## まちづくり

### 現在の課題

- 震災により人口の流出が加速したため、若者の定住促進や、通常の観光に加え、被災地視察や防災研修で人を市外から呼びこむことが必要になってきています。
- 住宅再建が進む中、多くの被災者が仮設住宅から復興公営住宅等へ移っていますが、また一から新しいコミュニティを形成する必要があり、入居者の精神的・身体的な負担が懸念されます。
- 津波被害がなかった地区では、震災後に引っ越してきた方が増え、住民同士の結びつきが弱まってきており、コミュニティの強化が必要になってきています。
- 津波被害が甚大だった漁業集落は、人口流出も著しいため、市街地に比べ住宅再建等の復興まちづくりが遅れています。

### 解決に向けて(主な団体の取り組み)

- ◆(一社)ISHINOMAKI2.0  
中心市街地に拠点「IRORI」を構え、若者のアイデアを活かしたまちづくり活動を行っています。「STAND UP WEEK」等の体験型イベントを通じて、まちなかの賑わい作りをしています。
- ◆(公社)みらいサポート石巻  
ARアプリを使った防災まちあるきや、「つなぐ館」の運営を通じて、防災教育のメニューを充実させています。
- ◆(一社)石巻じちれん  
大規模新市街地の新蛇田地区における復興公営住宅でのコミュニティ形成支援を目的として、ラジオ体操や夏祭り等のイベントを開催し、住民交流の場を作っています。
- ◆NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ  
山下地区の住民同士が気軽に集まれる居場所として、こども図書館の運営やコミュニティカフェ等のイベントを企画しています。
- ◆(一社)おしかリンク  
ネットワーク組織として牡鹿半島の各浜を繋ぎ、地元住民と外来者を繋ぐため、体験型観光のコーディネート等を行っています。
- ◆WE ARE ONE 北上  
北上町の復興まちづくりの推進のため、住民の合意形成への支援や交流施設の運営、イベント開催等を行っています。



## 福祉

### 現在の課題

- 高齢化に伴う要介護者の増加は全国的な傾向ですが、特に石巻市では東日本大震災の影響もあり、要介護人口が急増しました。対策として、地域住民主体の介護予防・健康づくりの取り組みが大事になってきています。
- 震災前からマイカー社会で、移動に困っていた高齢者・障害者が多かったが、震災後さらに交通弱者の存在が顕在化し、生活困窮世帯の増加とともに複合的な支援が必要になってきています。

### 解決に向けて(主な団体の取り組み)

- ◆(一社)りびらす  
住民自らがまわりの住民の健康を守るための仕組み作りを行っています。  
リハビリや福祉の専門職スタッフが、住民に体操や筋トレの方法等を教えることでサポーターを養成し、今度はサポーターとなった住民が、その地域での体操教室の運営を担っていくよう活動しています。
- ◆NPO法人移動支援 Rera  
障害や高齢等の理由で、一人で移動するのが困難な住民を病院等へ送り届ける送迎ボランティアを行い、安心して生活できるようにサポートしています。
- ◆(公財)共生地域創造財団  
生活困窮世帯の相談と就労訓練事業や家計相談事業、住居確保の支援を行っています。また、フードバンクを通し、余剰食品の寄贈を市民から受け、福祉施設や生活困窮世帯へ配布しています。



# 知ってそうで知らない NPOのこと

## そもそも、NPOって何?

### NPO = Non-Profit Organization

- 直訳すると「非営利組織」となりますが、意味を正確に伝えるためには、「民間非営利組織」とするのが一般的であり、さまざまな社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称です。
- 収益を上げてはいけないう意味ではなく、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められますが、事業で得た収益を構成員に分配せず、さまざまな社会貢献活動に充てることとなります。
- ここで取り上げる「NPO」には、一般社団法人(一社)、公益社団法人(公社)や公益財団法人(公財)、また公益性のある任意団体も含められます。

## NPO法人(特定非営利活動法人)とは?

- 特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、NPO法人(特定非営利活動法人)と言います。
- 法人格を持つことによって、法人の名の下に取引等を行うことができるようになり、団体名義での契約締結や土地の登記等、団体がいわゆる「権利能力の主体」となり、団体自身の名義において権利義務の関係を処理することができるようになります。
- NPO法人を設立するためには、所轄庁(宮城県)に申請をして設立の「認証」を受けることが必要です。認証後、登記することにより法人として成立することになります。
- ただし、一般社団・財団法人については認証手続きが不要です。しかし、多くの社団、財団法人が「非営利型法人」として登記し、社会貢献活動を行っています。

## 市民から信頼されるNPOを目指す

NPO法人は、その事業や会計について情報公開が義務付けられています。活動を支える寄付やボランティアといった支援を受けるためには、その目的や活動内容に共感を得る必要があります。団体・スタッフともに市民からの信頼を得る必要があります。そのために、情報公開により人や組織が開かれていることが求められます。

## 活動資金は?

- ①会費 → 会員(構成員)から毎年(毎月)継続的に支払われる会費収入
- ②寄付金 → NPOまたはその事業に賛同して寄せられる寄付金。継続性のない一時的な収入で、用途の自由度が高くNPOにとって重要な収入
- ③補助金・助成金 → 自治体や民間助成財団等から活動事業に対し交付されるが、対象期間は単年度が多く用途の制約もある収入
- ④事業収益 → 物品販売、サービス提供、労力提供等により得る収入(行政等からの委託事業を含む)

## 震災後のNPO活動

東日本大震災の発生直後から、石巻市には国内外のボランティアのみならず、多くのNPOが支援に入り、その専門性や機動力を発揮して復旧・復興に大きな役割を果たしました。応急時の被災者支援の時期を経て、現在は震災前からの地域課題に対しても、さまざまな活動や支援を行っています。



## 石巻市NPO連絡会議

昨年11月に設立され、市内NPOの連携の場として、行政、地元企業等との情報交換や連絡調整を行いながら、石巻の復興まちづくりに貢献しています。

NPOの情報発信と市民との協働を目指して、毎月第3木曜日、石巻日日新聞紙上に「いしのまきNPO日和」を掲載しています。

## 受講者募集!

### 「NPOのための決算書作成初級講座in石巻」

- と き 平成29年1月25日(水) 午後1時~3時30分
- と ころ 市総合体育館会議室
- 対 象 NPO・市民活動団体の理事や監事、会計担当者等
- 定 員 20人(先着)
- 料 金 800円(資料代)
- 持 ち 物 電卓、筆記用具
- 申込方法 電話、FAXまたはEメールで申し込みください。  
[申] 団
- みやぎNPOプラザ  
☎022-256-0505 FAX022-256-0533  
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

## 石巻市NPO支援オフィス

平成14年、市がNPOや市民活動団体の活動支援の拠点として、市総合体育館の裏にある建物を整備し設置しました。開設時は40団体でしたが、東日本大震災後は団体数が急増し、現在は約130団体が登録しています。登録団体以外の市民活動団体(町内会や自治会等)にも利用されています。

### (管理運営)

NPO法人いしのまきNPOセンター  
〒986-0832泉町三丁目1-63  
☎23-0851 ✉ npo@i-port.ne.jp  
URL <http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/>

